

事務事業評価表

○基礎情報

| 課名 | | 男女共同参画課 | 作成責任者 | 常勤職員 | | 常勤職員以外 | | | 時間外勤務時間 | |
|------|----|-------------------------------|--------|------|------|----------|------|---------|----------|----------|
| 施策目標 | 15 | 互いが尊重され、あらゆる分野の活動に参画できる社会をつくる | 多賀谷 悦子 | 管理職 | 左記以外 | 再任用短時間職員 | 臨時職員 | 非常勤嘱託職員 | 総時間 | 一人あたり月平均 |
| | | | | 1 人 | 5 人 | 1 人 | 0 人 | 1 人 | 1,003 時間 | 16.7 時間 |

1 施策指標と実績(Do)

| 施策指標名 | 3次実施計画の現状値 | 目標値(30年度) | 実績値 | | | |
|--------------|------------|-----------|-------|-------|-------|-------|
| | | | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 |
| 固定的性別役割分担意識 | 59.3% | 59.8% | 59.3% | 62.8% | 60.5% | 64.0% |
| 男女の地位における平等感 | 29.5% | 34.0% | 29.5% | 26.2% | 26.0% | 21.3% |
| 0 | 0.0% | 0 | | | | |

(評価の見方)

- ・S 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果があがった
- ・A 事業の指標は達成できなかったが、成果はあがった
- ・B 事業の指標を概ね(80%)達成し、成果は今後見込める
- ・C 事業の指標は達成できなかったが、成果は今後見込める
- ・D 事業の指標を概ね達成したが、成果は見込めない
- ・E 事業の指標を達成できず、成果も見込めない
- ・Z 未着手事業(中核市関連のものを含む)
- ・実績なし 事業実施の体制は整えていたが、実績がなかった(実施計画期間中で当該年度は実績のないものを含む)

2 事業実績(平成29年度)

| No. | 事務事業名 (第3次実施計画) | 事務事業の目的・目指すべき成果・効果 | Plan / Do | | | | | | | | | | 総合評価 (Check) | | | Action | |
|-----|-------------------------------|--|----------------------|-----------------------|----------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------|----------------------|--|--------|--------|--------------|----------|--------------|----------|----------|
| | | 何を・誰を (対象) | どうやって働かさ け(手段・方法) | どうしたいか(生ま れる成果・効果) | 事業 性質 | 従事 者数 | 会計 区分 | H28予算(円) H28決算(円) | H29予算(円) H29決算(円) | 事務事業の指標名 | H29目標値 | H29実績値 | 評価 | 取組 時間 | 見直し検 討可能性 | 業棚 選定 | 休・ 廃止 |
| 1 | 「第2次ちがさき男女 共同参画推進プラン」の進行管理 | 第2次ちがさき男女共同参画推進プラン(平成28年度～32年度)の基本理念である「人権が尊重された、男女共同参画社会の形成」に向けた13の目標に係る事業の推進を図り、その進捗管理を行う。 | 政策 | 0.84 | 一般 | 497,000 ----- 418,700 | 457,000 ----- 408,520 | 外部評価の実施及び評価結果の施策等への反映 | 外部評価:1回・施策への反映 | 外部評価:1回・施策への反映 | S | 変動なし | ● | | | | |
| 2 | 2市1町人権・男女 共同参画連携推進 会議 | 茅ヶ崎市、藤沢市、寒川町が人権関連施策、男女共同参画関連施策、DV防止に係る関連施策など共通認識を持って市域を超えて協議、情報交換し、その推進を図る。 | 政策 | 0.29 | 一般 | 35,000 ----- 34,989 | 58,000 ----- 52,434 | 実施事業数 | 4事業 | 4事業 | S | 増加 | ● | | | | |
| 3 | 都市交流事業 | 多くの都市やそこに暮らす人々と交流することにより、異なる環境に暮らす人々の生活や文化を理解し、相互に尊重する心を育てる。 | 政策 | 0.43 | 一般 | 485,000 ----- 456,860 | 400,000 ----- 0 | 市民バスツアーに参加した人の人数 | 15人 | 18人 | S | 変動なし | ● | | | | |
| 4 | 平和啓発看板移設 事業 | 茅ヶ崎駅南口駅前広場改修工事に伴い、「平和都市宣言」「核兵器廃絶平和都市宣言」「交通安全都市宣言」の看板をリニューアルする。 | 政策 | 0.02 | 一般 | 0 ----- 0 | 0 ----- 0 | 設置時期 | H30年3月 | 関係課かいと実施に向けた打ち合わせ等実施しているが、平成31年度以降着手予定の事業であるため | Z | 変動なし | | | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|--------------------------|---|----------|------|----|---------------------------------|---------------------------------|------------------------------------|--------------------|---|---|----------|---|---|--|
| 5 | 女性問題の研究調査及び啓発 | 誰もが能力を発揮できる男女共同参画社会の実現に向け、先進的な取り組みに関する情報収集や事例紹介による啓発事業を実施します。また、男女共同参画社会の実現に向けた施策に反映するため、はがきによる市民の意識調査を継続的に実施し、経年変化を調査します。 | 定例 定型 | 0.52 | 一般 | 183,000 ----- 175,984 | 177,000 ----- 172,504 | 情報紙発行回数 | 2回 | 2回 (発行部数 700部) | S | 変動 なし | ● | | |
| 6 | 人権同和対策に関すること | あらゆる人が心豊かに自分らしく生活でき、不当な差別を受けることがない社会の実現に向け、人権啓発活動を推進する。 | 定例 定型 | 0.11 | 一般 | 921,000 ----- 769,038 | 881,000 ----- 782,875 | 市主催事業実施回数 | 年1回 | 年1回(189人) | S | 変動 なし | ● | | |
| 7 | 相談事業 | 離婚等夫婦の問題、家族の問題、経済的な問題、暴力の問題、子どもの問題など様々な問題を抱える女性を支援して女性が安心して暮らすことができる社会の実現を目指し、「女性のための相談室」を男女共同参画推進センターに設置し、専門相談員による電話相談・面談相談・法律相談を行う。 | 定例 定型 | 2.34 | 一般 | 6,731,000 ----- 6,357,313 | 6,710,000 ----- 6,112,671 | 相談件数(平成27年度より件数は国の統計調査に基づく件数になります) | 530件 | 603件 | S | 変動 なし | | | |
| 8 | 男女共同参画社会の実現に向けた啓発等推進事業 | 第2次ちがさき男女共同参画推進プランの基本理念である「人権が尊重された、男女共同参画社会の形成」に向け、男女共同参画社会の実現に向けた講座等の啓発事業を実施します。また、市民提案型協働事業により女性の就労を支援する事業を実施する。 | 定例 定型 | 1.16 | 一般 | 2,912,000 ----- 2,723,260 | 3,100,000 ----- 2,526,769 | 講座等事業参加者数 | 625件 | 532件 | S | 変動 なし | ● | | |
| 9 | 男女共同参画推進センター管理運営 | 男女共同参画社会の実現に向けた拠点施設である男女共同参画推進センター(いこりあ)を管理・運営する。 | 定例 定型 | 0.64 | 一般 | 8,944,000 ----- 8,587,021 | 8,742,000 ----- 8,435,499 | 男女共同参画推進センター利用率 | 63.0% | 59.9%(利用団体 3,308団体) | S | 変動 なし | ● | ● | |
| 10 | 男女共同参画推進センター登録団体申請受付及び支援 | 男女共同参画社会実現のため、男女共同参画に取り組む団体等を支援する。 | 定例 定型 | 0.03 | 一般 | 0 ----- 0 | 0 ----- 0 | 登録団体共催事業 | 2事業 | 2事業(参加者 44名) | S | 変動 なし | | | |
| 11 | 地域における男女共同参画の推進 | 地域の取組に男女共同参画の視点を浸透させ活力ある地域社会の形成を図る。 | 定例 定型 | 0.28 | 一般 | 0 ----- 0 | 0 ----- 0 | 啓発講座等開催数 | 3回 | 3回(受講者 35名) | S | 変動 なし | | | |
| 12 | 国際化に対応した行政サービスの提供 | 外国人市民が地域コミュニティーの一員として安心して生活でき、言葉の壁や生活習慣の違いに関係なく円滑に生活が送れるよう環境づくりを行う。 | 定例 定型 | 0.52 | 一般 | 40,000 ----- 40,000 | 40,000 ----- 40,000 | 事業参加者数 | 40人 | 27人 | A | 変動 なし | ● | | |
| 13 | 国際化に対応した地域交流の支援 | 外国人市民の増加及び多国籍化に対応すべく、国際交流団体や市民ボランティアと円滑な連携を図る。 | 定例 定型 | 0.11 | 一般 | 110,000 ----- 109,888 | 107,000 ----- 106,900 | 共催事業数 | 6事業 | 6事業 | S | 変動 なし | ● | | |
| 14 | ゆかりのまち交流事業 | ゆかりのまち岡崎市との交流事業を通じ、ゆかりのまち及びゆかりの人物について広く市民に周知する。 | 定例 定型 | 0.25 | 一般 | 617,000 ----- 609,036 | 745,000 ----- 698,440 | 交流事業実施回数 | 2回 | 2回 | S | 変動 なし | ● | | |
| 15 | 「平和について」ポスター作文コンテスト事業 | 次代を担う子どもたちに、戦争の悲惨さや平和の尊さなどを考える機会を創出する。 | 定例 定型 | 0.29 | 一般 | 27,000 ----- 26,632 | 22,000 ----- 20,670 | 作品応募学校数(参加者数) | 34校(対象学年児童生徒数の50%) | 学校数は26校(小学校16校、中学校10校)、対象学年児童生徒数の参加割合は54.4%で2,305人が参加した。(うち小学生が76.8%で1,618人、中学生が32.2%で687人)生が32.2%) | A | 変動 なし | ● | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|-------------------|---|----------|------|----|---------------------------------|-----------------------------------|------------------------|-----|-----|---|----------|---|--|--|
| 16 | ピーストレイン平和大使広島派遣事業 | 次代を担う子どもたちに、戦争の悲惨さや平和の尊さなどを肌で感じ学び取ってもらう機会を創出する。 | 定例 定型 | 0.23 | 一般 | 1,216,000 ----- 1,213,813 | 1,255,000 ----- 1,210,355 | 平和大使派遣者数 | 16人 | 13人 | S | 変動 なし | ● | | |
| 17 | 平和啓発事業 | 平和啓発事業を通じ、平和の尊さについて考える機会を創出する。 | 定例 定型 | 0.45 | 一般 | 1,507,000 ----- 1,506,900 | 1,327,000 ----- 1,327,000 | 平和に関する展示会等 イベントの開催数 | 4回 | 4回 | S | 変動 なし | ● | | |
| 18 | 災害応急対策活動 | - | 定例 定型 | 0.09 | 一般 | 0 ----- 0 | 0 ----- 0 | | | | | | | | |
| 19 | 庁内共通業務 | - | 定例 定型 | 0.17 | 一般 | 0 ----- 0 | 0 ----- 0 | | | | | | | | |
| 合計 | | | | 8.78 | | H29総予算(円) ----- H29総決算(円) | 24,021,000 ----- 21,894,637 | | | | | | | | |

3 実施計画事業の総括評価

| 人工・事務事業費・事務事業指標達成度の結果にかかる分析(Check)／今後の展望(Action) | |
|--|--|
| <p>男女共同参画課の平成29年度における事業数は19事業であり、「災害応急活動」「庁内共通事務」を除くと17事業である。 これらの事業の評価結果は、「S」14事業、「A」2事業、「Z」1事業となっている。 「平和啓発看板移設事業」が「Z」となった理由は、都市アピール看板の移設事業であるが、茅ヶ崎駅南口駅前広場改修事業が遅れているため、当該年度に事業が未実施であったためである。 各事業の評価結果が全事業「A」以上となっていることから、大半の事業で成果を出すことができた、もしくは今後成果が見込めるものとなっている。 施策目標の内、「固定的性別役割意識」については、逡増傾向にあり固定的性別役割を無くしていこうという意識が広く市民の中に醸成されつつあることを見てとれるものの、「男女の地位における平等感」は逆に低減傾向にあり、実態として男女共同参画が進んでいないことを示している。アンケート調査の結果を見ると特に若年層において固定的性別役割分担意識や男女の平等感の保守的な傾向が見られるため、若年層に向けてのDV防止啓発を通して男女共同参画の啓発に努めていく。男女共同参画、平和や人権等に係る事業については、事業の成果がすぐには施策目標の達成に寄与しないものが多いが、目標の達成手段として適切な事業となっているかを丁寧に分析し、社会情勢や法令等の動きを注視しながら積極的に改善を図り、効果的な啓発活動を進めていく。 一方、職員の時間外勤務に着目すると、全庁的な時間外勤務の平均値を下回っている。平成29年度においては、第2次ちがさき男女共同参画推進プラン後期事業計画の策定に伴い、事務量が前年度を上回る状況にもかかわらず時間外勤務の総時間は82時間減少し人件費の削減に貢献できた。これは、平成29年度の職員行動改革における部門別の取り組みに参画し、1年を通して業務改善と職員の意識改革に努めたことによるものと考えている。男女共同参画社会の実現には、長時間労働を是正し、ワークライフバランスを実現することが必要不可欠であるので、庁内において率先して更なる働き方の見直しと時間外勤務の縮減に取り組んでいく。</p> | |

4 見直し検討可能性にチェックの入った事業のうち休・廃止検討事業

| No. | 事務事業名 | 休・廃止検討の理由 |
|-----|-------|-----------|
| - | - | - |

5 働きかたの見直しにおける取組結果(28-29年度の2か年の取り組みの結果、得られた生産性向上などの成果)

| No. | 事務事業名 | 取り組みの結果 |
|-----|-------|--|
| - | - | 平成29年度の職員行動改革における部門別の取り組みに参画し、①業務内容の見える化、②タスク管理の見える化、③スケジュールの見える化をテーマに業務改善を進め、目標に掲げた「部分休業の計画取得率100%」及び「最低月1回の年休取得」を達成した。また、業務量が増加する中にも時間外勤務の削減に成功している。 |